

学校だより

いじめ見逃しゼロスクール集会 ～私たちにできること～

校長 関川 紀美子

松浦小学校では、心の育成プロジェクトとして、子ども達の豊かな心の育成を行っています。相手の気持ちを考えた言動ができる子どもを目指し、6月には生活のめあてを「やさしい言葉で話そう」としました。このめあてを目指し、各学年で取組を行いました。

7月6日（水）3校時には、いじめ見逃しゼロスクール集会を行い、6月の生活のめあてについての取組成果について1年生から6年生まで発表を行いました。

1年生は、言われて心がほかほかする言葉をインタビュークイズ形式で発表しました。第1位は「一緒に遊ぼう」でした。

2年生は、「おはよう」「上手だね」「すごい」「おいでよ」「ごめんね」「ありがとう」「だいじょうぶ」など、たくさんの思いやり溢れる言葉を全員が発表しました。

3年生は、生活のめあての取組に使ったカードを取り上げ、その様子を発表しました。

4年生は、クラスのよい言動について具体的に例を挙げて発表しました。「〇〇しよう」と相手にやさしく、相手を責めない言い方が大切なこと、相手の話をまずは聞くこと、決まりを守ることなど高学年らしい発表でした。

5年生は、いじめのない学校にするための工夫を考え、それを全員が五・七・五の標語に表現し発表しました。

6年生は、修学旅行に佐渡へ行った際、互いに気を付けたことや心を配ったことを全員が発表しました。さすが最高学年。相手を思いやる、やさしさ溢れる言動が心に響く発表でした。

発表後は、運営委員会の子どもたちの企画による全校ゲーム「じゃんけん列車」を楽しみました。ゲームは大いに盛り上がり、運営委員会の子どもたちの活躍に感心させられました。

新潟県では、6月を「いじめ見逃しゼロ強調月間」としています。いじめをしない、いじめをさせない、いじめを見逃さない学校にするためにこれからも相手の気持ちを考えた言動ができる子の育成を目指し、取組を継続していきます。

